

TYPE OF INDUSTRY

情報通信研究機構

NICT 先端研究

115

極地の夜空を鮮やかに彩るオーロラは、雲より上空、高度約80キロ〜500キロ以上の超高層で発生する地球大気の発光現象である。宇宙から電荷を帯びた粒子（プラズマ）が地球へ

降り込み、大気の酸素や窒素などと衝突した際に励起される光がオーロラの源である。宇宙と聞くと真空でも何もないイメージがあるかもしれないが、実は多種多様なプラズマが空気のようになっている。地球周辺のプラズマは主に太陽からは、人工衛星など宇宙

オーロラの出現を予報

電磁波研究所・宇宙環境研究室 主任研究員

坂口 歌織

2009年名古屋大学大学院博士後期課程修了。日本学術振興会特別研究員を経て、10年NICTに入所。バンアレン放射線帯やオーロラなど、宇宙天気予報の研究に従事。博士（理学）。



科学技術・大学

Aurora Alert オーロラアラート

オーロラアラートとは、最新のオーロラ出現予報と北極・南極のオーロラ映像をリアルタイムでお届けするサイトです。

English page is here

アラスカ (北緯)	南極基地 (南緯)	日本	グリニッジ (南緯)
20120509 TUE 06:35:19 AM 日の出 03:52 日の入り 21:46	20120509 WED. 05:35:19 AM 日の出 09:40 日の入り 14:55	20120509 WED. 11:35:19 AM 日の出 04:41 日の入り 18:34	20120509 WED. 02:35:19 AM 日の出 04:14 日の入り 19:40

[オーロラ予報](#)
[リアルタイムモニター](#)
[宇宙天気チャンネル](#)
[オーロラアーカイブ](#)

オーロラ予報を提供しているウェブサイト「オーロラアラート」の一部 (<http://aurora-alert.nict.go.jp>)

「オーロラアラート」を開発を実施している。この技術で公開している。オーロラアラートを応用することでは、太陽風の観測データを利用することで数時間先までのオーロラ活動度を予報している。現在は、人工衛星によるリアルタイム観測値と経験則から全地球規模のオーロラ活動度の予報の提供を行っているが、今後はスーパーコンピュータなどによる太陽風や地球磁気圏・電離圏の数値計算結果を応用し、より高精度でオーロラの発生位置や強度を予測可能なモデルへと改良していく予定である。（火曜日に掲載）